

令和5年ヒウオ生息状況調査結果(第1次調査)

(調査日:10月17日、10月18日)

滋賀県水産試験場

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

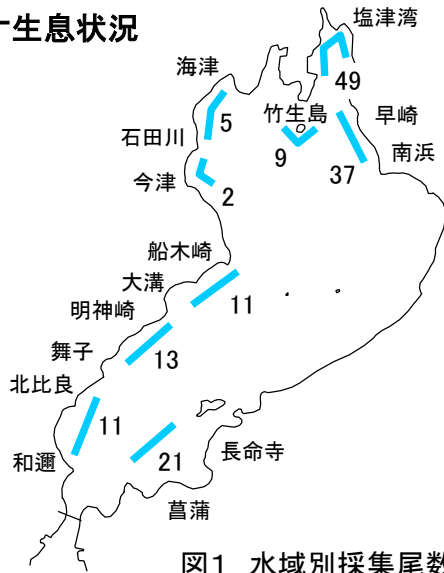


図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	37	24.7
塩津湾	49	19.6
竹生島周辺	9	19.5
海津～石田川沖	5	16.6
今津沖	2	22.5
船木崎～大溝沖	11	38.3
明神崎～舞子沖	13	21.4
北比良～和邇沖	11	11.3
菖蒲～長命寺沖	21	17.6
全調査水域平均	17	20.8

* 数値は各水域で2回曳網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化 (平年値は平成25年から令和4年までの最大値・最小値を除いたものの平均)

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
R2	96	49	6
R3	332	431	179
R4	209	19	13
平年値	159	67	19
R5	17		

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
R2	13.2	37.3	122.7
R3	9.4	34.9	62.0
R4	35.4	109.8	200.3
平年値	12.9	40.5	83.3
R5	20.8		

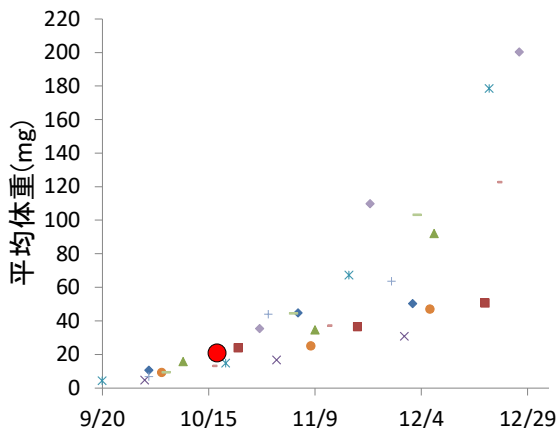


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第1次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は17尾で、平年よりも少なくなりました。

・産卵調査では早期の産卵数が少ないことが確認されており、本調査でも同様の傾向が見られています。

・平均体重は20.8mgで、平年値より大きくなりました。

・次回のヒウオ生息状況調査は11/14、15に実施する予定です。

令和5年ヒウオ生息状況調査結果(第2次調査)

(調査日:11月15日、11月21日)

滋賀県水産試験場

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

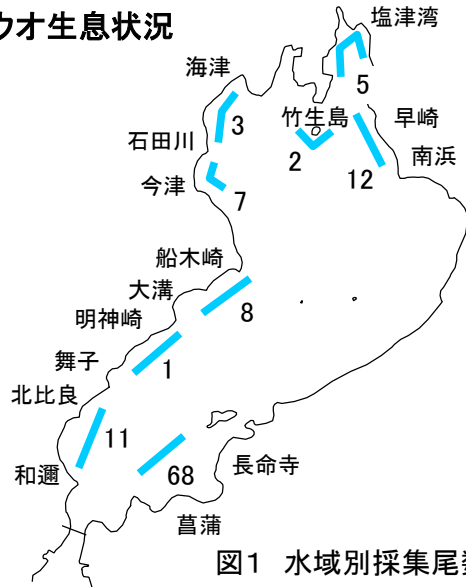


図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	12	49.6
塩津湾	5	36.7
竹生島周辺	2	11.2
海津～石田川沖	3	33.8
今津沖	7	16.6
船木崎～大溝沖	8	22.2
明神崎～舞子沖	1	54.8
北比良～和邇沖	11	33.2
菖蒲～長命寺沖	68	27.6
全調査水域平均	13	30.5

* 数値は各水域で2回曳網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
R2	96	49	6
R3	332	431	179
R4	209	19	13
平年値	159	67	19
R5	17	13	

※平年値はH25年からR4までの最大値・最小値を除いたものの平均

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
R2	13.2	37.3	122.7
R3	9.4	34.9	62.0
R4	35.4	109.8	200.3
平年値	12.9	40.5	83.3
R5	20.8	30.5	

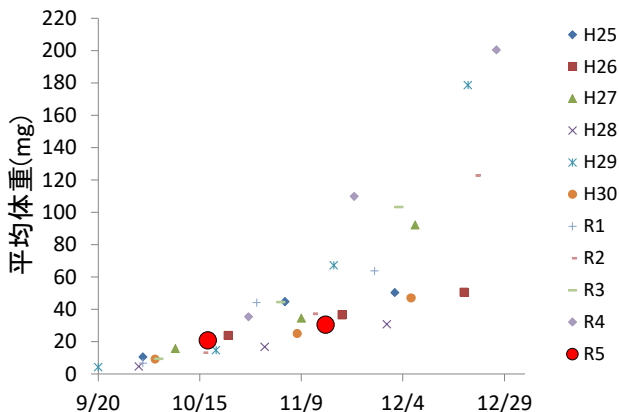


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第2次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は13尾で、平年よりも少なくなりました。

・産卵調査では今期の産卵数が少ないことが確認されており、本調査でも同様の傾向が見られています。

・平均体重は30.5mgで、平年値より小さくなりました。ただし本調査で採捕されるヒウオは遅生まれに偏っており、必ずしも12月の漁期開始直後に採捕される早生まれヒウオの成長が遅いことを示すわけではありません。

・次回のヒウオ生息状況調査は12月中旬に実施する予定です。

令和5年ヒウオ生息状況調査結果(第3次調査)

滋賀県水産試験場

(調査日:12月13日、12月14日)

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況



図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	1	576.7
塩津湾	1	224.8
竹生島周辺	1	125.1
海津～石田川沖	1	293.9
今津沖	3	36.9
船木崎～大溝沖	1	23.6
明神崎～舞子沖	4	79.4
北比良～和邇沖	5	36.4
菖蒲～長命寺沖	1	45.3
全調査水域平均	2	95.0

* 数値は各水域で2回曳網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
R2	96	49	6
R3	332	431	179
R4	209	19	13
平年値	159	67	19
R5	17	13	2

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
R2	13.2	37.3	122.7
R3	9.4	34.9	62.0
R4	35.4	109.8	200.3
平年値	12.9	40.5	83.3
R5	21.3	31.4	95.0

※平年値はH25年からR4までの最大値・最小値を除いたものの平均

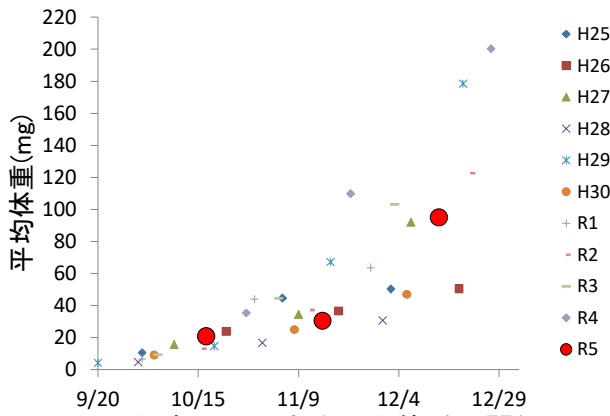


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第3次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は2尾/曳網で、平年よりも少なくなりました。

・産卵調査では今期の産卵数が少ないことが確認されており、本調査でも同様の傾向が見られています。

・平均体重は95.0mgで、平年値より大きくなりました。

・本年のヒウオ生息状況調査は今回をもって終了となります。

・1月以降は魚探調査等でアユ資源動向の把握を行う予定です。

令和4年ヒウオ生息状況調査結果(第3次調査)

滋賀県水産試験場

(調査日:12月20日、12月27日)

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

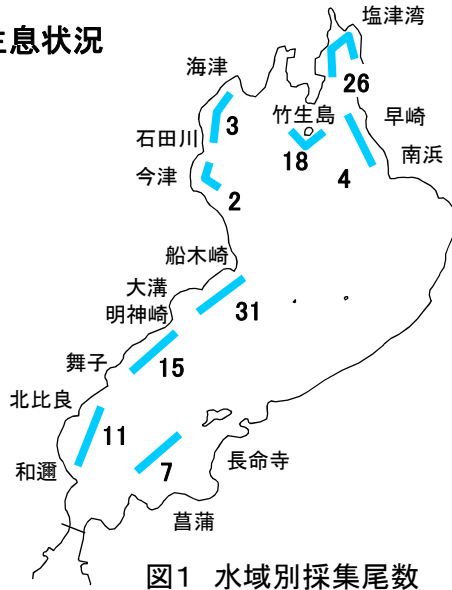


図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	4	235.0
塩津湾	26	176.9
竹生島周辺	18	150.8
海津～石田川沖	3	120.8
今津沖	2	316.2
船木崎～大溝沖	31	253.5
明神崎～舞子沖	15	205.2
北比良～和邇沖	11	177.1
菖蒲～長命寺沖	7	157.7
全調査水域平均	13	198.4

* 数値は各水域で2回曳網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化 (平年値は平成24年から令和3年までの最大値・最小値を除いたものの平均)

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H24	23	24	8
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
R2	96	49	6
R3	332	431	179
平年値	136	67	18
R4	209	19	13

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H24	18.1	32.9	31.2
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
R2	13.2	37.3	122.7
R3	9.4	34.9	62.0
平年値	12.2	36.2	64.9
R4	33.9	107.3	198.4

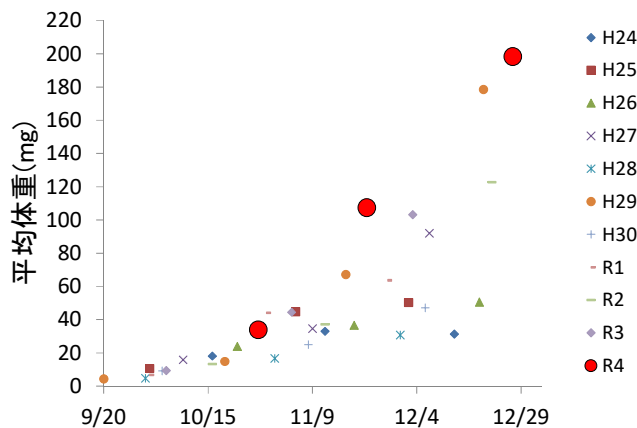


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第3次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は13尾で、ほぼ平年並みとなりました。

・平均体重は198.4mgで、平年値より大きくなりました。今年の第3次調査は平年に比べて遅い時期の実施となっていますが、時期を考慮しても大きめの体重となっています。

・今年度のヒウオ生息状況調査は第3回をもって終了となります。

令和3年ヒウオ生息状況調査結果(第3次調査)

滋賀県水産試験場

(調査日:12月2日、12月3日)

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

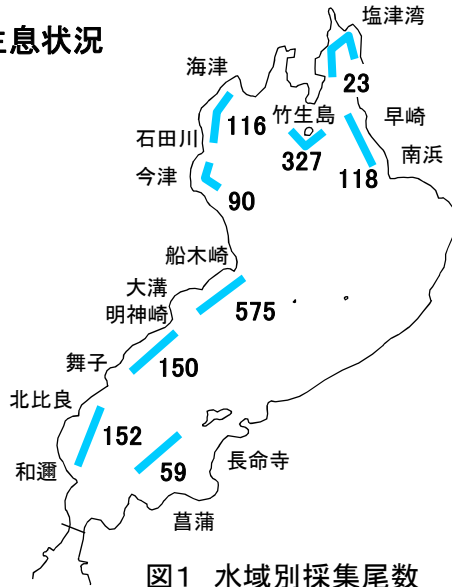


図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	118	89.4
塩津湾	23	112.5
竹生島周辺	327	93.3
海津～石田川沖	116	131.1
今津沖	90	157.9
船木崎～大溝沖	575	96.6
明神崎～舞子沖	150	86.0
北比良～和邇沖	152	77.1
菖蒲～長命寺沖	59	84.5
全調査水域平均	179	103.2

* 数値は各水域で2回曳網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化 (平年値は平成23年から令和2年までの最大値・最小値を除いたものの平均)

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H23	378	371	97
H24	23	24	8
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
R2	96	49	6
平年値	142	67	18
R3	332	431	179

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H23	11.8	24.5	38.9
H24	18.1	32.9	31.2
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
R2	13.2	37.3	122.7
平年値	12.5	34.9	62.0
R3	9.4	44.5	103.2

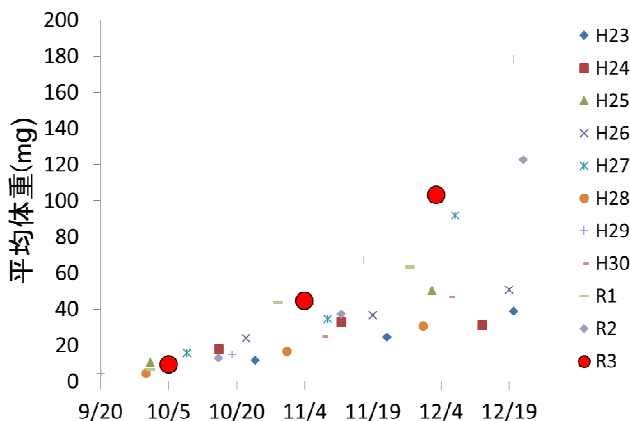


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第3次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は179尾で、平年値よりも多くなりました。

・平均体重は103.2mgで、調査時期を考慮すると大きめとなりました。

・今年度の2次・3次ヒウオ曳では採捕尾数・平均体重共に平年値を上回る値が記録されました。しかし12月の漁獲アユを分析した結果、成長は平年より遅いことが明らかになっています。

令和2年ヒウオ生息状況調査結果(第3次調査)

滋賀県水産試験場

(調査日:12月17日、12月22日)

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8mを水平方向に約1km曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

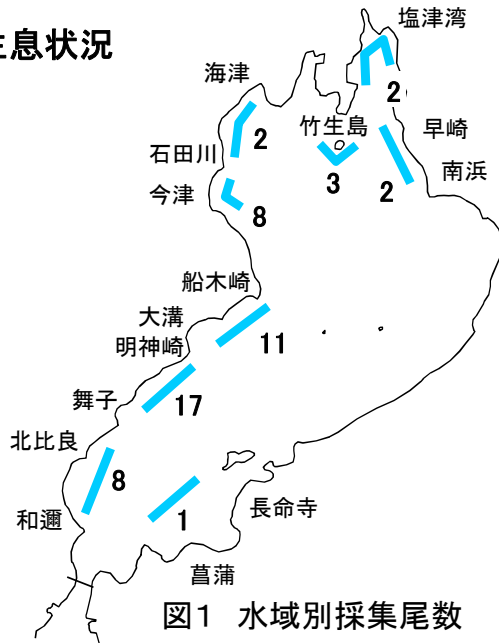


図1 水域別採集尾数

表1 水域別のヒウオ採集尾数および平均体重

調査水域名	ヒウオ採集尾数* (尾/曳網)	平均体重** (mg/尾)
南浜～早崎沖	2	50.7
塩津湾	2	28.7
竹生島周辺	3	57.1
海津～石田川沖	2	199.4
今津沖	8	43.8
船木崎～大溝沖	11	197.2
明神崎～舞子沖	17	110.3
北比良～和邇沖	8	178.0
菖蒲～長命寺沖	1	11.6
全調査水域平均	6	122.7

* 数値は各水域で2回えい網した値の平均。

**全調査水域平均は測定した全個体の平均値であり、調査水域ごとの平均体重の平均値とは一致しないことがある。

2. ヒウオ生息状況の経年変化 (平年値は平成22年から令和元年までの最大値・最小値を除いたものの平均)

表2 ヒウオ採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H22	25	245	268
H23	378	371	97
H24	23	24	8
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
R1	52	70	20
平年値	133	92	29
R2	96	49	6

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H22	5.0	15.9	25.1
H23	11.8	24.5	38.9
H24	18.1	32.9	31.2
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
R1	6.7	44.0	63.7
平年値	11.5	32.4	50.5
R2	13.2	37.3	122.7

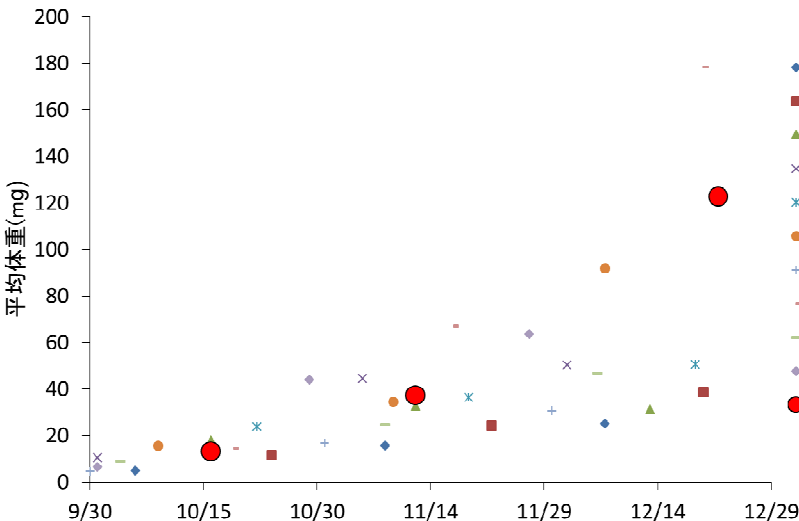


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

・第3次調査で採捕されたヒウオの平均採捕尾数は6尾で、平年の21%でした。また、平均体重は122.7mgで、平年よりも大幅に大きくなりました。

・本調査で使用している曳網は、ヒウオが成長するにつれて遊泳力が高まり採捕されにくくなる特性があります。今回、採捕尾数が少なく、平均体重が大きかったことは、今季の産卵の多くが10月上旬までにほぼ終了していることから、本調査で対象となる小型のアユが少なかったことを反映したものと考えられます。

令和元年ヒウオ生息状況調査結果

滋賀県水産試験場

【調査概要】網口1m×2m、長さ8mの網を、下図1の水域の水深約8m層を水平方向に約1kmずつ2回曳網し、採集されたヒウオ(アユ仔魚)の数で生息量の水準を評価しています。

1. ヒウオ生息状況

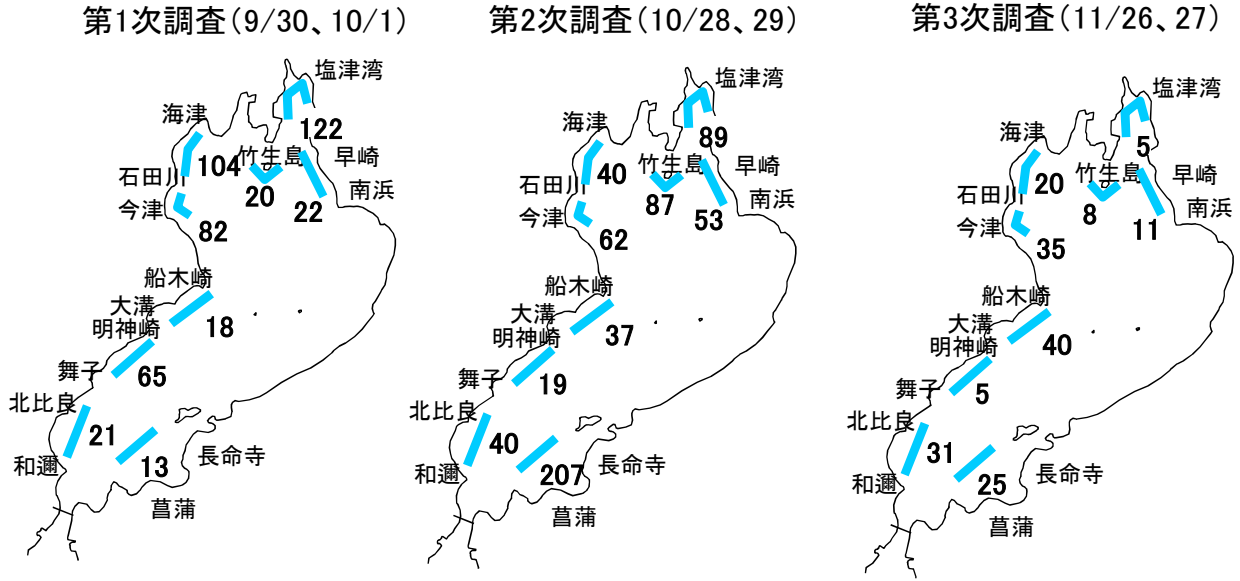


図1 水域別採集尾数

※数値は各水域で2回曳網して採捕された尾数の平均値

2. ヒウオ生息状況の経年変化

(平年値は平成21年から平成30年までの最大値・最小値を除いたものの平均)

表2 ヒウオ平均採集尾数の経年比較 (尾/曳網)

	第1次	第2次	第3次
H21	51	90	24
H22	25	245	268
H23	378	371	97
H24	23	24	8
H25	189	28	8
H26	56	15	10
H27	769	70	14
H28	15	194	64
H29	50	6	3
H30	289	87	14
平年値	133	94	30
R1	52	70	20

表3 ヒウオ平均体重の経年比較 (mg/尾)

	第1次	第2次	第3次
H21	10.9	17.3	41.0
H22	5.0	15.9	25.1
H23	11.8	24.5	38.9
H24	18.1	32.9	31.2
H25	10.6	44.7	50.3
H26	23.9	36.6	50.6
H27	15.8	34.6	92.0
H28	4.7	16.7	30.7
H29	14.8	67.2	178.5
H30	9.2	25.0	47.0
平年値	12.0	29.0	47.7
R1	6.7	44.0	63.7

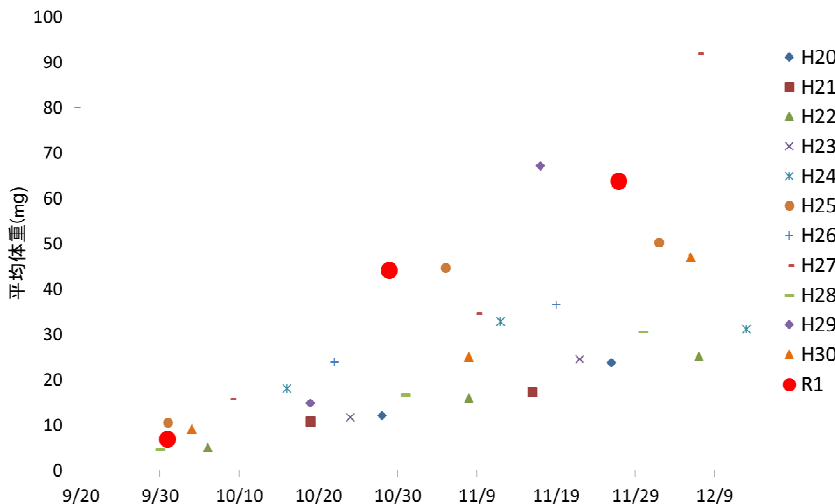


図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

ヒウオの平均採捕尾数は
平年の39～74%で推移した。
平均体重は、平年よりも大きく推移した。